

2022年4月14日

報道関係各位
プレスリリース

株式会社ドリーム・アーツ



常石造船、SmartDB®で設計工程の作業を年 19,000 時間削減 ～競争力強化につながる QCD 改善と人材有効活用～

「デジタルの民主化」のリーディングカンパニー 株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、このたび常石造船株式会社（本社：広島県福山市、代表取締役社長：奥村 幸生、以下 常石造船）での大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®（スマートデービー）」の導入効果をまとめた活用事例記事を本日 2022 年 4 月 14 日に公開したことを発表します。

■造船設計における重要業務のデジタル化を現場部門主体で

常石造船は、1917 年に創業し 100 年を越える歴史を持つ日本の大手造船メーカーです。創業以来、安全で高品質な船舶を製造・提供することで世界経済発展の一翼を担ってきました。海外にも拠点を持ち、なかでもばら積み貨物船「KAMSARMAX」は、常石造船の登録商標が業界標準として呼称されるほど認知されるなど、国内外問わず事業を拡大しています。

一方、常石造船では長年に渡り紙で運用されてきた社内業務の効率改善が課題となっていました。なかでも造船の設計業務において最も重要な出図業務の効率化が大きな課題に。同業務は、紙業務であったことに加え、チームや拠点により業務フローが統一されておらず製造に必要な図面を発行する出図作業の遅延や案件全体の納期に影響が出てしまう状態でした。

そこで常石造船は、2020 年 1 月に設計部門の管理職が中心となり業務改善委員会を発足。3 ヶ年計画を立案し、課題解決に向けて業務棚卸やシステム導入に取り組み始めました。これまで業務改善にあたり導入されたシステムは、図面共有フォルダや簡易的な電子印鑑サービスなど業務全体を考慮しきれていない個別最適な利用範囲に留まり、設計工程におけるタスク進捗などの把握ができず、設計工程全体の業務効率化が不十分な状態でした。そこで、あらためて自社が必要とする新システムの要件を整理し、業務全体のデジタル化を前提としたツール導入の本格検討を開始。複数の製品を比較・検討するなか、自社の組織構造や業務フローの複雑さをカバーできる SmartDB®を導入しました。設計本部が主体となり 2021 年 3 月から 5 月の 3 ヶ月間で開発・運用検証を実施し、6 月には国内設計本部の全スタッフを対象として実業務での本番運

用を開始しています。

■削減できた作業時間は年間 19,000 時間に

SmartDB®での設計工程のデジタル化により製品品質の向上や納期遵守率の向上など、製造業の重要指標である QCD の観点で効果が現れています。なかでも付随業務の効率化においては大きな効果が見られました。導入前のトライアル期間中におこなった効果試算では年間 13,000 時間の削減を見込んでいましたが、運用開始から半年後に効果を計測した結果、さらに 6,000 時間が加わり年間 19,000 時間の削減見込みに上方修正しました。また、付随業務の標準化が進んだことで、業務を担当するスキルの制約が解放され、これまで以上に効果的な人材配置をすることにもつながっています。

今後は日本国内より活用効果が見込める海外拠点への利用展開や他システムとの連携を含め、さらなる活用効果の獲得を目指しています。

■常石造船様からのコメント（事例記事より抜粋）

現場の複雑な業務プロセスのデジタル化を現場主体で推進していく、

ドリーム・アーツの掲げる“デジタルの民主化”が常石造船という会社にマッチしました。

設計本部 設計管理部 部長
機電設計部 部長
小林 裕 氏



メールやExcelで実施していた申請・承認業務をデジタル化しました。

業務標準化が進み、現場業務が楽になっているという声が出ており効果を実感しています。

設計本部 設計管理部
設計事務グループ
大原 満理恵 氏

図面情報のマスタ化で、情報入力の正確性と図面の品質などが向上しました。

マスタ選択式にシフトしたことでダブルチェック作業の必要がなくなりました。

設計本部 設計管理部
設計事務グループ
寺岡 幸美 氏



このたび公開した活用事例では、常石造船が **SmartDB®** を導入するに至った背景や達成した成果について紹介しています。事例詳細は下記のページよりダウンロードのうえご覧ください。

活用事例記事 <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/case/tsuneishi/tsu220414/>

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。



SmartDB® (スマートデービー) について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※)の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコード・ローコードで開発可能。ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能をもち、柔軟な外部システム連携、きめ細やかな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱 UFJ 銀行や大和ハウス工業、立命館大学など、大企業を中心に 50 万名以上が利用中です。サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※ テクノ・システム・リサーチ「2021 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア (従業員数 1,000 名以上)」より

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

1996 年 12 月に設立されたドリーム・アーツは「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに、「情報共有」と「対話」を重視した独創的かつ高品質なソリューションとサービスを提供します。「協創力を究めよ」のスローガンのもと、ICT だけでも人間だけでもできないビジネス上の難題の解決を ICT と「協創」でお手伝いしています。大企業向け業務デジタル化クラウド **SmartDB®**、多店舗オペレーション改革を支援する「**Shopらん®** (ショップラン)」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX®** (インスイートエックス)」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

広報担当 佐藤

3 / 4

DAPR_20220414_02

TEL : 03-5475-2502 / 080-7023-7602 E-mail : pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©2022 DreamArts Corporation.